

建築研究所ニュース



平成 28 年 9 月 9 日

21 名の研修生が参加した 1 年間の国際地震工学研修の
閉講式が 9 月 13 日（火）に建築研究所で執り行われます。

国立研究開発法人建築研究所では、1960 年の開始以来、開発途上国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学研修」を国際協力機構（以下 JICA）と協力して行っています。これまでの修了生は、今回の研修を含め、100 ヶ国 1,751 名になります。

1 年間の「国際地震工学研修」には、地震学、地震工学、津波防災（2006 年開始）の 3 つのコースがあります。建築研究所及び政策研究大学院大学 (GRIPS)、JICA との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号の取得が可能な研修となっています。

昨年 10 月に開講した「第 56 回国際地震工学研修」には、11 ヶ国 21 名の研修生が参加し、修士号学位を取得しました。閉講式は、9 月 13 日（火）11:00 から建築研究所 2 階講堂において行われます。

<参考>

- 研修生の出身国名は、以下のとおりです。（11 ヶ国 = 21 名）
アルジェリア (2)、バングラデシュ (3)、エクアドル、エジプト (2)、エルサルバドル、インド (2)、キルギス、ミャンマー、ニカラグア (4)、パプアニューギニア (2)、フィリピン (2)（ABC 順）
- 研修修了生の多くは、帰国後、関係分野の専門家として活動しています。現在、指導的立場で活躍されている方には、インドネシア教育文化省のセントソ高等教育局長（バンドン工科大学元学長）（1979 年修了）、パキスタン気象庁のアリフ長官（1986 年修了）やネパール都市開発省のスッパ顧問（1991 年修了）などがおられます。

ご面倒ですが、記事掲載の折には、記録を留めるため、下記問い合わせ先へお知らせ下さい。

（内容の問合せ先）

国立研究開発法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 山下 崇
電 話 029-879-0678 (直通)
E-mail t-yama@kenken.go.jp